



必要性

- 返還要求運動の中心を担ってきた元島民の平均年齢が86歳を超え、返還要求運動の次世代への継承が課題となっている。
- 現在、高校生向けの啓発事業は非常に少なく、また、根室管内の高校には、北方領土問題を取り扱っている部活動(同好会、クラブ)は根室高校のみとなっている。全国の先頭に立ち、返還要求運動の中心を担う根室地域としても、運動を引き継ぐ後継者の育成として、高校生に焦点を当てた取組が必要。

根室管内の高校生が北方領土問題に興味・関心を持つきっかけづくり 高校生自ら企画し、啓発活動を行う機会の提供と支援

R3

北方領土問題について
興味と関心を持つ

- 高校生向けパンフレットの配布
 - ・ 北方領土問題の概要
 - ・ 北方領土根室研究会の活動
 - ・ サポーター制度の紹介 など
- 高校巡回北方領土パネル展の開催
 - 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、年度内は中止

R4

啓発活動への参加
返還要求運動を**経験**する

- 高校巡回北方領土パネル展の開催
 - 根室管内すべての高校で、パンフレットを補完する内容のパネル展を開催(令和3年度より延期しての開催)
- 高校生Nサミットの開催
 - 根室管内の高校生を集め、同世代に啓発するためのデジタルサイネージ映像を制作

R5

啓発活動の実施
自ら**行動**する

- デジタルサイネージ映像の活用
 - 令和4年度に制作したデジタルサイネージ映像を活用し、根室管内の高校や中心街、札幌市内の中心街などで啓発活動を実施(予定)

ねらい



本事業の実施により、返還要求運動の中心を担う**後継者の育成**と**同世代への啓発効果**を図る。